

2023年 1月26日 第2505回例会
1月第3例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ロータリー」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「職業奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



RI理事会は、ロータリークラブだけでなくロータリアン一人ひとりがロータリーの活動に参加することを促すため、特別月間を指定しています。

この特別月間について、先ごろ開催されたRI理事会において、4月を「環境月間」とすることが決定されました。これに伴い、それまで4月の特別月間としていた「母子の健康月間」は今まで何も定められていなかった7月の特別月間とすることとなりました。「環境」は2020年にRIが取り組む7つ目の重点分野として追加されたものです。RIは「ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています」とし「ロータリーは天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます」と述べています。地球環境の保護が、将来にわたり人類にとって重要だという考え方だと思います。

● 卓話予告

日時	テーマ
2/9(木)	新会員卓話 「ニュースポーツについて」 亀田 宏明 君 「センゴク木材 会社案内」 千代山浩二 君

米山記念奨学会特別寄付金の累計額が47,648,750円となりましたので、米山功労クラブとして感謝状が届きました(100万円毎 第47回)



● 会務報告

古本幹事

- ※ 広島14RC合同親睦ゴルフ大会のご案内
- ※ 2022年1月から12月の期間、ロータリー財団及び米山記念奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届きましたので、BOX配布しています。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 井原君

本日(1月26日・木曜日)
 会員数 87名 出席者 66名
 欠席者 21名 ご来客 0名
 ご来賓 0名 ゲスト 0名
 計 66名
 4週前の例会2022年12月15日・木曜日
 出席率 100%

※ 次年度 吉田(大)幹事

次年度委員会配属表をBOXに配布しています。



● 同好会報告

🎯 紫雀会 鈴木世話人

2023年初の紫雀会は、1月19日(木) 18:00よりおとなりのそば吉で食事をとってからのスタートとなりました。

今年が一番男は、前半戦プラス126点、後半プラス111点でぶっちぎりの優勝をしたオブザーバーの高田さんでした。2位は、前半・後半ともプラスの木本君、3位は前半戦マイナスを後半で取り戻した私、鈴木でございました。今年初の紫雀会も楽しい時間となりました。

次回例会は、2月16日(木)、立町の麻雀マックで午後6時より開催いたします。

🎯 バイオレッツ 柴田マネージャー

3月18日(土)から始まるガバナー杯に向けて今日から本格的な練習に入ります。

近年の戦力補強がうまくいき、今年は期待できるチームであると自負しております。応援よろしくお願いたします。

● 会員記念日

📅 ご入会記念月おめでとうございます。

(5名)

坂田君 (S59年)	荒谷君 (H 3年)
井原君 (H 4年)	加藤君 (H19年)
片山君 (H24年)	

🌸 創業月おめでとうございます。

(4名)

荒谷君	荒谷建設コンサルタント㈱
児玉君	(医・社) 仁和会児玉病院
小田君	広島総合法律会計事務所
武田君	戸田建設㈱ 広島支店

👑 12月決算月おめでとうございます。

(12名)

大谷君	税理士法人児玉会計
田島君	広島アルミニウム工業㈱
大地君	ANAクラウンプラザホテル広島
田川君	田川司法書士事務所
上野(純)君	㈱石亭
福田君	(医・社) メリオス hospital
金本君	金本公認会計士事務所
大本君	大本・三宝・桑原法律事務所
木村君	木村公認会計士・税理士事務所
香川(浩)君	㈱ヒロウエル
大植君	大植法律事務所
片山君	㈱コマップス



奥様お誕生日おめでとうございます。

(9名)

川西君	文江夫人
川村君	朋子夫人
隅田君	英美夫人
諏訪(昭登)君	博子夫人
平原君	佳代夫人
中村(光)君	めぐみ夫人
武田君	敬子夫人
石山君	園子夫人
前橋君	宏子夫人



本日は100万ドルの食事例会です

● スマイルボックス

SAA 田中副委員長

🎯 紫雀会

紫雀会1月例会の結果から。

準優勝の木本君、3位の鈴木君、ご出宝をお願いします。

■ 職業奉仕部門クラブフォーラム



職業奉仕の誕生と 発展そして現在

会長エレクト

諏訪 昭浩 君

(要約を掲載しますが、詳しくは全文を記載した配付資料をご覧ください。)

1. 「職業奉仕」一定款の表現

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」(定款第5条 目的)

「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会

員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」(定款第6条 五大奉仕部門)

2. 職業奉仕誕生前夜－ロータリーの奉仕の目覚め

- 1905年にポール・ハリスがシカゴロータリークラブを設立。当時、ロータリーに「奉仕」は存在しなかった。(親睦と相互扶助だけのクラブ)
- 世の中の批判もあり、人のために何かするべき…シカゴロータリークラブはシカゴ市に公衆トイレを設置する運動に関わる。(ロータリーの社会奉仕の原点)
- 1908年にシカゴロータリークラブに入会したフレデリック・シェルドンという経営学の先生が、「利己と利他の調和」という経営学の理論をロータリーに持ち込む。(当時はまだ職業奉仕という言葉は存在しておらず、職業奉仕の誕生はまだ先のことになるが、これがロータリーの職業奉仕の原点)

自分の利益ばかりではなく、相手のことも考えて、このバランスを保って商売をすれば、自分の利益だけでなく、業界の倫理水準も高まり、自分の仕事を通して世の中が良くなっていく。経営は、このような「利己と利他の調和」を目指して行うべきである。

3. 職業奉仕誕生前夜－ロータリー分裂の危機

- 社会奉仕派と職業奉仕派の争い。理由はロータリーの奉仕が明確に規定されていなかったこと。

4. 職業奉仕誕生前夜－はじめて規定された奉仕概念の誕生 分裂の危機を脱する

- 決議23-34は、ロータリーの奉仕理念を確定した「唯一の」文献で、ロータリーで初めての奉仕概念である「一般奉仕概念」を規定し、ロータリーは分裂の危機を脱した。(社会奉仕も職業奉仕もOK)

「ロータリーにおいて社会奉仕 (Community Service) とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである」(決議23-34)

* Community Service は広義の社会奉仕 (一般的な社会奉仕は狭義)。

5. 職業奉仕誕生－四大奉仕部門の誕生

- 決議23-34の4年後の1927年に「四大奉仕」

が誕生し、「職業奉仕」が独立した正式な奉仕となった。

6. 職業奉仕概念の変遷－当初から変わっていない

- 職業奉仕の原点は、シェルドンの「利己と利他の調和」という経営学。
- 決議23-34で「一般奉仕概念」が規定されたが、「利己と利他の調和」というシェルドンの理論はその一部となっている。下線部分はまさに「利己と利他の調和」を図ること。

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。」(決議23-34)

- この引用部分は、「利己と利他の調和」こそがロータリーだと言っている。「利己と利他の調和」は職業奉仕の重要な根幹だが、同時に、またそれ以上に、ロータリーの本質そのものでもあるということ。つまり、この「一般奉仕概念」の段階から、「利己と利他の調和」が、単に職業奉仕にとどまらず、ロータリーの本質そのものとされている。
- その後、「一般奉仕概念」は「四大奉仕」の誕生によって4つに分割され、ここに「職業奉仕」が誕生したが、その背景にある概念は、「一般奉仕概念」で規定されたときと同じまま、四大奉仕とか五大奉仕とか、分類は変わってもそのまま現在まで受け継がれている。

7. 職業奉仕の2つの実践ツール－「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範 (職業宣言)」

8. 職業奉仕の唯一の解説書－パーシー・ホジソン著「奉仕こそわがつとめ」

「職業奉仕は、何人といえども、あなたに代わってすることのできないものであります。それはロータリーの綱領に宣言されているように、あなたのクラブの最も重要な目的であります。それは、あなたの事業、つまり、あなたの日常の仕事を意味します。ロータリーをあなたの職場で活用すること、即ち、ロータリーの職業奉仕を、あなたの仕事におけるあらゆる原則、方針、及び行動の基礎とすることは、ロータリアンとしてのあなたの義務です。」

9. 奉仕理念をわかりにくくしている近年のRIの変化とクラブの対応

- ポリオ根絶運動などの大規模で世界的な奉仕の主導やキワニスやライオンズ、オプティミ

ストと合同で奉仕を行う動き。ロータリーは単なる慈善団体のような印象（そうではない）。奉仕概念の軽視。

- 忘れてはならないのは、このような大きな変動の中にあっても、「一般奉仕概念」や「職業奉仕」を含め、ロータリーの奉仕概念の本質や、価値観やロータリアンとしてあるべき姿は変わっていないということ。
- クラブは国際ロータリーの会員であるが国際ロータリーの下部組織ではなく両者は対等。
「ロータリーの基本原則は、加盟クラブの実質的な自治である」（ロータリー章典）
- 原則から逸脱した国際ロータリーの変化を正確に把握しながら、できる限り国際ロータリーに協力してあげる姿勢がクラブの正しいあり方。

10. 学ぶことの大切さ

- ロータリーは、ロータリアンが職業人として人間として成長するための仕組みを提供してくれる。その恩恵を享受するためには学ぶことが前提条件。
- 会員に学びの機会を提供するのはクラブの責任。
ロータリーに入会した者は、ロータリーの原則と慣例に関する教育を受けることが必要で、その結果、人間性が向上して「真のロータリアン」になる。真のロータリアンだからこそ、自然に業界や社会に貢献できる。このような「人作り」こそロータリークラブの使命である。（ガイ・ガンデイカー著「ロータリー通解」）

11. ロータリーの奉仕の本質に関する誤解

- 「ロータリークラブでの奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。」（決議23-34）
- 研究室の実験：成功もあれば失敗もある。例え奉仕の成果が出なくても、奉仕に取り組んだ時に得られる人間的成長こそが、ロータリーの面白さであり本質。

◆クラブフォーラム 会員アンケート集計結果

回答数：（ 58 ）

質問1 あなたの会社には、企業理念（社訓）がありますか？

- ある（ 42 ）
- ない（ 16 ）

～質問1で「ある」と答えた方に引き続きお聞きします ※「ない」と答えた方は質問6へ～

質問2 その企業理念（社訓）は、あなたがロータリーに入会してから定めたものですか？

- はい（ 2 ）
- ロータリー入会以前からあったが、入会后に一部を改正した（ 6 ）
- ロータリー入会以前からあって、変更はしていない（ 34 ）

質問3 その企業理念（社訓）を従業員が目にするところに掲示していますか？

- 掲示している（ 33 ）
- 掲示していない（ 9 ）

質問4 従業員にその企業理念（社訓）をどのような方法で浸透させていますか？

- 朝礼などで唱和している（ 22 ）
⇒頻度は？
・毎日（ 5 ） ・不定期（ 17 ）
- 特に何もしていない（ 15 ）
- その他（ 5 ）
・年に2回、社長訓話の時に
・半期に一度、定例会議の時に
・年に1回、経営方針発表会の時に

質問5 あなたから見て、従業員はその企業理念（社訓）をもとに社業に励んでいると感じていますか？

- 感じる（ 29 ）
- 感じない（ 2 ）
- わからない（ 11 ）

～質問1で「ない」と答えた方にお聞きします～

質問6 現在どのような形で会社の思い（あなたの思い）を従業員に伝えてありますか？

- 会議や朝礼時に伝えている
- 会議や社員との面談の時に伝えている
- 小さな組織なので、その都度各人に伝えている
- 時流に合わせた言葉にして伝えている
- プロジェクトごとに行動及び言動で伝えている
- 自分でも伝えるが、“社内DNA”のような形で、脈々と伝わっている

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 新原 靖
幹事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会